2018年度

**I、法人理念とビジョン**

　葛飾福祉館創立者・大高良三は、キリスト者として「一匹の迷いでたこひつじを探し求める愛」に重きを置きました。そして、葛飾福祉館は、保育園事業による福祉サービスと地域福祉サービスを掲げ、地域住民との協働による和を目指しています。

**「法人理念」**

◎私たちは創立者・大高良三の思想と実践を継承します。

◎こどものしあわせは、みんなのしあわせです。

◎安心して子育てできるお手伝いをします。

◎利用者本位の介護を受けるお手伝いをします。

◎課題に向き合い専門職として解決へ導きます。

**「法人ビジョン」**

◎共に喜び寄り添いあえる社会の実現

◎差別のない隣人を愛せる社会の実現

◎尊い命と人格を重んじる社会の実現

II、状況の把握と実践への課題

①葛飾福祉館と法人

保育園事業総合目標

・

・

・

子育て支援センター総合目標

・

・

・

学童保育クラブ総合目標

・

・

・

通所介護事業総合目標

・

・

・

訪問介護事業所総合目標

・

・

・

社会福祉事業：第二種

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別 | 事業名 | 名称 |
| 第二種 | 保育所 | こひつじ保育園東立石こひつじ保育園本田こひつじ保育園 |
| 第二種 | 子育て支援センター子育てひろば事業葛飾区訪問保育事業 訪問型緊急一時保育葛飾区訪問保育事業 訪問型病後児保育育児支援訪問事業 | こひつじ子育て支援センター |
| 第二種 | 放課後健全育成事業 | こひつじ東四つ木学童保育クラブこひつじ四つ木学童保育クラブこひつじ川端学童保育クラブこひつじ第二川端学童保育クラブこひつじ本田学童保育クラブこひつじ本田第二学童保育クラブ |
| 第二種 | 介護保険事業 訪問介護都指定障害福祉サービス事業 居宅介護都指定障害福祉サービス事業 重度介護 | こひつじ介護サービス |
| 第二種 | 介護保険事業 通所介護 | こひつじデイサービスわが家 |

2018年度事業計画　歴史と繋がり

【法人の役割】

**I**：方向性

　1、「市場原理とミッション」

　地域とのつながりを大切にした保育事業と地域福祉事業を実践してきた中で、

現在、少子高齢社会で独居高齢者、待機児童問題、シングルマザーを始めとした貧困問題等々、表出しています。葛飾福祉館として地域の社会問題改善に努力する使命を持っています。気がつけば、社会福祉の現場における市場原理が当たり前に入り込む社会となっています。その環境の中でどう社会福祉法人としてどう生き残り、地域サービスを提供し更なる組織の発展をしていくかを具現化していかなければなりません。

市場原理と社会福祉、一見矛盾したシステム、世界を表裏一体として捉えミッションを拠り所とする実践をしていかなければなりません。

　２、「迷い出たこひつじ」

　葛飾福祉館の理念の中心に「迷い出たこひつじの条」があります。

これは、言い方を変えれば「迷わされたこひつじ」でもあります。

荒野（社会）を羊飼いによって群れとなりひつじが餌を求め彷徨っています。

羊飼いがしっかりと導くことにより、安心して暮らせます。しかし、迷わされたひつじやこひつじは、現代社会においてさまざまな比喩となります。社会に迷わされたこひつじが正しい方向へ導かれるために私たち葛飾福祉館の事業と事業理念と実践があるのです。ミッションと理念とビジョンに従ってセツルメント実践を展開していくと考えてます。

　３、地域と協働

　葛飾福祉館は、西渋江小学校跡地、葛飾区医師会看護学校の隣に介護保険事業通所介護として、こひつじデイサービスわが家を実践しています。デイサービス職員は地域の利用者とそのご家族、ボランティアさん方と寄り添いながら活動しています。そして、四つ木エリアで活躍しているNPO法人 中・西会とテオ取り合って地域福祉実践を展開しています。さらに四つ木一丁目南町会のメンバーや四つ木二丁目中町会とも暖かい眼差しで見守られています。

NPO法人 中・西会を始めとした四つ木地域の輪がなければ地域活動も含めた介護保険事業ができません。それこそがNPO法人 中・西会と地域地域と葛飾福祉館が一体となった協働と言えます。

　東立石・立石エリアは、東立石地区に法人二番目にできた東立石こひつじ保育園があり、立石地区では区立本田保育園から移管した本田こひつじ保育園が今期、完成しました。東立石も立石も地元、東立石八町会や地域住民とつながり地域に根ざした施設として実践しています。

　東四つ木地区は、大高良三がセツルメント実践により始めて法人設立をした地域です。当時から地域の方々のご理解とご支援により法人初のこひつじ保育園が誕生しました。この東四つ木が法人活動の原点となります。

法人として東四つ木の地域の皆様にご協力いただき地域との絆を育むことができました。

　この社会福祉法人 葛飾福祉館のストーリーを四つ木・東立石・立石・東四つ木のすべてのエリアの方々と共に創ってきたと言っても過言ではありません。

社会福祉法人 葛飾福祉館の理念として各職員が専門職として方法や技術・思いを駆使して地域福祉ニーズに応えるべく対応していきます。

法人が培ってきた地域との絆、信頼感。中西会・地域住民・町会などの

　　　地域組織との目指す方向について具体的に説明（地域とどんな町にして

　　　いきたいか）」

　４、法人ガバナンスとして組織が生き残るために経営視点から、取り組みたい

　　　内容。

　　　　聖堂環境からの視点：公的に多大な支援（非課税・全面的な公費補助・

　　　　退職金建設費等々の補助金）

　　　これからどうなるのか：その対策と計画をどうするのか？

　　　　　　　　　　　　　　　　地域支援活動・地域社会活動等

　５、法人理念に立つ人材育成

**II**：展開

　１、新中期計画の具体的な実施

　　①葛飾福祉館の起源である地域活動の意味・特性を職員への浸透と具体化

　　　を育成研修を追求

本田こひつじ保育園事業実施

　０歳児実施

　子育て支援センター実施

　病後児保育実施

　１歳児０歳繰り上がりクラス実施準備

　１歳児入園クラスの実施

ICTの促進

経営改善計画